

舊藩主前田加賀守利家公の舍弟善一氏十九世の後裔前田又左衛門氏の三男なりしが入りて吉田腕家として聲名高し。

山口鳳馨堂藥房 南新町にあり、三百數十年前の開業にして商號『ヤクカ』を以て知らる。藥品及び賣藥の卸小賣をなし地方各醫院並に賣藥店への供給を爲せり。日本製藥、帝國製藥、星桂屋製藥會社及び有名なる製藥製劑本舗との特約をなし近郷に信用を博せり。當主山口伊之助氏は本郡枳根莊村の産、幼にして養子となり山口家の後を嗣ぐ、資性溫厚篤實、放逸を好まず宗教心に厚く弘誓寺の檀徒總代を爲し、其の他池田藥業組合の會計幹事、桂屋製藥株式會社の監査役たり。

●藤田藥店 北新町に在り、十八年前の開業にして一般賣薬商を業す。店主藤田昇一氏は滋賀縣甲賀郡土山町の生れにて足利家の旗本大原正左衛門氏の分孫勝枝氏の次男なり。長じて藤田家に入り其の姓を襲ひたるものにて更に息子道夫君は東京本郷の産、佐々木二郎高安の孫松平家の士族にて有賀の姓を賜はり東京府市會兩議員及び本郷區會議員たりし故有賀立雄氏の次男なりしが、四年前中學校卒業後當家の養子となれり。斯く同家は由緒の譽れ高きを以て足利家より拜領の床置物、鐵瓶及び徳川家より拜領の助廣銘刀二振等の家寶沙汰らる。

■鈴木松華堂 西の口町にあり。建具販賣、表具軸物表裝を業とし當地有數の老舗として顧客の來集常に絶えず。四五の職人を雇傭して其の業に餘念なきが、店主鈴木與三郎氏は池田表親として溫厚篤實の士なり。

會の會長にして溫厚篤實の士なり。森田春秋堂、本町役場前に在り。池田表親會幹事を務む。店主森田新三郎氏は本郡秦野村、大字濫谷に呱々の辯を擧げ同所に於て表具商を營みしが、明治四十四年當地に移住し、専ら斯處に請勤して相當の信用を博す。大正九年十月其の隣家を改築して一家となし文房具其の他學業書籍等の販賣の特約店を兼ね。

校用品店を開業し、輕便にして経済的で、又、中川精華堂、南新町に在り、建具販賣及び表具一式の業を營み、當地郊界の古店として、中川要一氏は資性敦厚、秀でたる書畫の鑑賞眼を有し、奥方面や寶塚地方一帯に健實なる得失を有し、貿易の成程せるに技術の優秀、迅速

なるを以て名あり。館主の星一、
之居に堂やたる一家の風を寫す。

心有して既に堂々たる一家の風を爲す
黒田洋行池田支店 西之口吳服橋東詰に在り、本店を尼崎市城内郵便局前に有し屋根丸建
材、陶器等を販賣す。更に出張所を寶塚驛前と阪急電鐵豊中停留所前に設置し。絶對親切
建
材
舗
利
多
販
在
庫
品
豐
富
、
納
期
確
守
等
の
各
項
目
を
主
義
と
し
て
活
動
し
創
業
日
淺
き
に
拘
は
ら
ず
既
に
本
店

特徴

御土産品に最も適當してゐます。お菓子やビールの看守して大好評です。本品は布咲浦島新嘉坡上海青島等に輸出してゐます。内地大都市は勿論です。



池田産柿半糞(一名干柿)

製造發商元會
町新元

料理館 平野温泉

能勢電鐵終點二ノ鳥居前

静養に適せり

室内清潔にして

空氣新鮮なり

妙見街道清遊の好適地

閑寂の高地にして

を凌駕するの繁昌を呈し居れり。店主黒田義太郎氏は阪神斯界の古店として聲明隆々たる尼崎市の素封家黒田直藏氏の三男に生れ、大阪商業の出身、年齒漸く三十にして酒煙草等を嗜ます身を持つ事頗る謹嚴なれば當地實業界に擡頭躍進するの日も遠きにあらざるべし。



■辻田電氣商會 建石町に在り。會主辻田辰藏氏は電氣業の造詣淺からず頭腦の明敏なる體かに専門大家を凌ぐものあり、宿望を抱きて大正五年獨立して現在商會を起し舊猪名川水力電氣會社の專屬工事請負ひを業とせしが、偶々水電會社が阪急電鐵に買收されるや君亦認められて池田町以西全部の電氣工事を爛任せられ職工十數名を督して家運益々榮ゆ。尙ほ目下宇保に於いて工事中なる池田綿布工場も同氏の經營に属し完成の曉は當地工業界に一光彩を放つべし。

■塚原建築部 本町に在り。左官請負及び風呂窓の築造、煉瓦積立工事、洗面器附便器、スト

本郡西郷村字下宿野の出生にして十年間池田甲ヶ谷に居住し官治として其の名を知らる、後大正八年本町に移住、今日の如き隆盛を見るに至れり。心

■新田秀三郎商店 内田町に在り。建築部はセメント煉瓦石灰及び一般附属品等を販賣す。先考源之

ーブの修繕販賣、ポンプ類の設備及び修繕、建築材料の販賣等を業とす。店主塚原治三郎氏は正八年本町に移住、今日の如き隆盛を見るに至れり。心

■風呂及び附属品の販賣をなし建築部は新田式經濟窓の築造、長州

助は五十年前の開業に係り當主秀三郎氏弱冠にして之れを繼ぎ苦心慘憺の末より今日の隆盛を見るに至れり。令息源治氏また勤勉よく父業を扶けて夙く既に令聞あり。尙ほ大阪硬化煉瓦、

見るに至れり。心

大分セメント、和田煉瓦の特約店たり。

■加茂佐園 本町井土之辻に本店を置き、庭園樹栽培場を阪急電鐵池田停留場東一丁の地に設け、北摺有數の庭園師として名あり。園主稻澤捨吉氏は川邊郡長尾村中筋の人にして十年前當地に來住し阪神地方を始め徳山方面へ庭木の搬出販賣を爲す。目下阪急電鐵沿線岡本の高木大毎副社長の庭園六百坪、同花屋敷の河野代議士の庭園一萬五千坪の各工事を請負ひ多數の部下を督廻して其の業にいそしみ居れり。

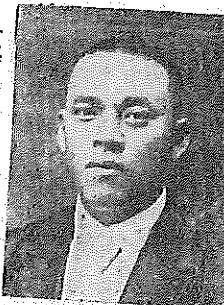
■杉本材木店 槩木町の太鼓屋と云へば古くより間に其の名を知らる。店主杉本捨松氏は明治二十五年生れにして快活豪爽の人、最近材木商を營み全力を擧げて活動し居れば本業たる太鼓胴製造は宛然副業たるの觀あり。

■中川幸一 本町の出身、性温厚にして令名あり。

■中川幸一氏は三重縣の出身、性温厚にして令名あり。

■中川、ポンプ店 阪急電鐵池田停留所前に本店を有し小阪前に出張所を設く。ポンプ器具の販賣及び衛生工事、上水工事、洗便器取付並に修繕工事を業とし明治四十二年の開業なり。店主室町、岡町、花屋敷方面を唯一の得意とし製作の迅速と料金の低廉を以て知られ常に夥多の注

文に追はれつゝあり。店主中西石松氏は年輩尚ほ若きも却々の活動家として知らる。



■森田新炭店 中之町に在り、各國木炭、コークス、無煙炭等を販賣す。店主森田孫太郎氏は川邊郡六瀬村の産、弱冠の頃より郷里に於いて斯業に從事し、常に池田地方に輸送しつゝありしが、大正七年現在の場所に開業し岡町、寶塚等の阪急沿線に健實なる販路を有し、猪名川染織所、阪急電鐵、室町購買組合等へ納品して信用を博し居れり。

■正本木炭商店 本店を木部新宅に有し工場を對崖川西村出在家に設く。輕便切炭、丸炭團、大正元年斯業を始む。池田產物の一切炭は販路廣く數量また多額に上り居れるが、此の需用に應すべく工場の設備を完成し電動力を使用して製造に勵み居れるものにて一日優に六千個の製造能力あり、北攝唯一の炭團供給所として其の製品の佳良なると共に普く世に知らる。■染人悉皆店 本町に在り、京染悉皆洗張り湯のしを業とし明治四十二年建石町に店舗を開きたるが、大正四年御大典を紀念として現在の場所に移住し同九年六月吳服商を兼業す。店主阪上久治郎氏は溫厚篤實の人、大阪、神戸を始め寶塚箕面等頗る健實なる得意を有す。

■村西吳服店 西の口町に在り、吳服太物並に洋反物の販賣を業とし明治三十八年の開業に係る。

る顧客本位にして親切叮嚀を旨とする營業振りは世の人氣に投じて賣行き旺なり。店主村西末造氏は豊能郡庄村内大字洲到止の出身。氏の令兄は郷里に於いて同じく吳服商を營み之れ亦地

方の信用を博し居れり。

■紅屋吳服店 北新町に在り明治三十四年の開業にして京都紅屋吳服店の池田支店たり。吳服類一切を營業とす。各博覽會に於いて有功賞受領の紋付小袖一式は同店の最も誇りとするもの

にて町厚迅速、廉價確實を旨趣として多大の信用を博す。店主新宮直七氏は京都市榮町四條の家としても令名夙に高し。

産、溫厚篤實の人なり。

■永田吳服店 西之口町に在り。當地に於いて最も古き開業に屬し斯界の代表的商店たり。品質の優良なると價格の低廉なるとは既に世の定評あり、顧客日に密集して店頭市を爲さんとする意を拂ひ品質の優良なると價格の比較的低廉なることは定評の證する所、故を以て顧客貰出しに常によく家業に精勵せり。

■横田雜貨店 元新町に在り、三十四年前の開業にして本町唯一の雜貨店なり。常に流行品の販賣、ミシン器械の販賣、ミシン裁縫物一式刺繡物等の調進販賣をして常によく家業に精勵せり。

■福田ミシン店 元新町に在り、ミシン器械の販賣、ミシン裁縫物一式刺繡物等の調進販賣を

爲す。常に婦人徒弟四五名を置きて業務の多忙なるを呈せり。店主福田泰藏氏は元大阪府巡査を拜命して天王寺警察署に勤務し居たりしが、解職後京都地方裁判所森田檢事に師事して法律を研究し大正五年轉じて實業界に入りて池田に來りて現業を始む。滋賀縣の人、當地唯一のミシン店として信用あり。

◎吉田社立物店 元新に在り、洋服類トントンビコート和洋雜貨ハツチ腹掛等凡て仕立物一切を調査信用篤く店頭常に顧客の足を絶たざるの盛賑を呈するに至れり。店主吉田餘三次郎氏は彼の有名なる儒學者建石町故福田耕耘氏の令息にして却々の活動家なり。

◎オタフクヤ 元新町に在り。化粧品小間物賣藥等を營業とし相當の客足を惹きて信用教し。

◎店主木戸五作氏は兵庫縣有馬郡名塩村の生れ、頗るの勤勉家とし相當の客足を惹きて信用教し。

◎平井綿店 本町にあり。綿蒲團商を營む。店主平井太市郎氏は伊豫國越智郡の人にして明治二十年尼崎に出でゝ同商を聞き、同二十五年池田に來たり住するに際し尼崎市の店を令弟に譲りて之れを本店として兩店共に商勢隆々たるものあり。當地に幾多の綿蒲團商ありと雖も品質の優良なると價格の低廉なると顧客の信用教き事とは到底他店の本店に及ばざる處なるべし。

◎福助堂小間物店 本町にあり、化粧品小間物其他美術雜貨類を販賣す。店主馬場新作氏は兵庫縣有馬郡鹽瀬村の人、二十年以來同商に携はりて信用教く大正五年御大典紀念として現在の

場所に開業せり。池田地方婦人の多くは同店に來たりて所用を達するは全く本店が品質優良、薄利多賣の賜として稱すべし。

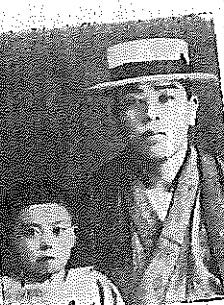
◎ヘンコッヤ商店 南新町に在り、メリヤス雜貨帽子肩掛類を販賣す。店主新銀巳之助氏は大坂市立商業學校を卒業し大正四年現住地に來たりて一意專念顧客の吸收に勵め、一方西之口百貨店内に支店を開きて令弟徳一氏を之れに當らしめ日の本足袋の代理店を特約して本支店共に隆盛を呈しつゝあり。氏は尼崎市の人、令兄賢弟共に所謂如才なき人として商才に富む。高橋硝子店 も元新町を本店とし西之口百貨店内に出張所を置き、板硝子、電氣器具、洋食器類を販賣す。店主高橋久太郎氏は滋賀縣愛知郡の人、以前大阪に於いて石笠及び骨ランプの製造業に從事せしが十八年前池田に來たりて硝子商を營む明治四十三年生産品評會に磨硝子を出品して、賞を得令息等悉く活動家にしてよく父業を扶け家運隆昌たり。本年十月より更に化粧品小間物店を西之口百貨店内に増設す。當地方有數の硝子店として聲名四顧に高し。

◎鳥井竹榮堂 西之口にあり、和洋菓子の調進及び卸小賣、砂糖の販賣をなす。例の池田名物

の『吳服煎餅』は當店の製造發賣に係り近時土產物として非常の賣行さあり。店主鳥井龜太郎氏は嚴父竹松氏が三十五年前新町にて斯業を開業したるを大正元年繼承して現在の場所に轉住したるものにて新町を本家と爲し西之口を支店とす。當地斯界に於ける第一位の賣行きを示せり。

◎仙戸饅頭店 梶本町に在り。店主仙戸朔太郎氏は三重縣の人、中等學校を中途退學し名古屋に遊びて斯業の研究を積み大正二年一日開業せしも不幸閉店し其の後本町日の出店にて五年の星霜を重ね同八年現在の場所にて開業す。顧客の擴張に意を注ぎて家運今や日に榮え、博覽會共進會等にて受賞數次に及びて製品優秀の譽れを荷ふ。同業組合の組長たり。目下同店東端に模範的店舗を新築中にて明年三月竣工の豫定、竣工の曉は當地斯界に一燐を添えん。

◎日之出饅頭店 明治三十五年の開業にして十字街東北角にあり御祝儀餅蒸し物饅頭等を調製販賣す。大正五年名古屋市に於ける國產食料品博覽會にて一等金牌を受領したるを始めとして各種博覽會共進會等にて受領せる銀銅牌數十個を有し製品の優秀なる既に世に定評あり、北攝地方有數店舗として聲望高し。



◎榊五郎商店 本町に在り。内外砂糖商を營み日本化學製菓株式會社製造カルシュームキヤラナル、灘萬食料品等の各北攝特約店及び森永製菓株式會社の特約店として當地方に於ける有數の店舗なり。店主西上槌之助氏は當地吳

服商の元祖京都井筒重房氏の女婿櫛屋五郎兵衛氏の家に入りて其の後を嘆き、五十年前現在の砂糖商を營み才略縱横、よく今日の家運盛賑を招來するに至れり。槌之助氏は亦風流の技に長じ生花及茶の嗜みあり、吳服神社の氏子及び先行寺の檀徒總代を爲す。因に井筒重房氏の墓は京都本派本願寺別域にあり。重房氏の令兄にして當地能樂の祖たる川田祐作氏の

重房氏の墓は當町高法寺内に存せり。(寫眞の令息は「男健次氏」)墓は當町高法寺内に存せり。(寫眞の令息は「男健次氏」)新町附近に多數借家を有し裕福なる家庭として家運日隆昌たり。青物乾物生魚干鹽魚酒釀詰果物鷄卵等を印藤商店、店主を印藤市郎氏と云ひ米屋町にあり。青物乾物生魚干鹽魚酒釀詰果物鷄卵等を印藤食料品店、林口町に在り、大正九年十二月の開業にして洋菓子食料品等を販賣す。彼の名菓仙錦糖本舗大阪玉蘭堂の特約店にして名菓さつきカルシューム入は本店獨特優秀の發賣品に係る。當地に於ける最新理想的の店舗として聲名高く店主の溫和柔順にして懇切町興なる

要職に在り、更に加島銀行支店監理課に勤務して少壯實業家たるの令名夙に聞ゆ。
阪戸陶器店　主人阪戸梅吉氏は細河村大字伏尾の産、明治二十年池田に來住。

三月元新郎に陶器商を開業す。大正元年細河村大字古江に製陶工場を建築し品質優良なる陶器類を製造して名あり。二年五月第五回日本産業博覧會に『吳服焼』を出品して三等賞銅牌を得更に五年十一月關西勵業共進會に『池田焼』を出陳して一等二等賞を受領せり。梅吉氏はまだ公

尼安兄弟商會　本町に在り。生魚商を營む。實兄黒台源次郎、令弟同松之助兩氏の共同經營にて斯界に於ける北攝唯一の信望ある店舗たり。常に店頭朝夕に絶ゆるなき顧客を以て滿たされ所謂市を爲すの賑ひを呈す。町の内外到所に二つ蝶々の印綱纏を着したる壯者を見受くるは是れ同店の商標にして其の店員、二六時中活動して己まさる商況の隆盛なるを現示して餘りある一證左とすべし。當主兩兄弟は俱に仁侠の氣に富みて慈愛の心深く幾多の公共事業に金圓を寄附し或は憐愍の境に在る者を救援したる事等枚舉に遑あらず。舉世滔々人心輕薄の今日氏の

雇傭して行商をも營み家運日に榮ゆ。
■ナハツル蒲鉾店　米屋町に在り。明治四十三年五月の開業にして各種蒲鉾の製造販賣を爲し北攝唯一の蒲鉾店として其の品質の優良と製品の美味なるとは既に夙く盛名あり。池田附近に確實なる特別の顧客を有し川邊、豊能の奥方面を始め遠く三田、有馬方面へ其の名を知られ日々注文殺到して調進に忙殺され居れり。各種品評會に出品して金銀銅牌十數個を受領し頓に榮譽の光輝顯揚たり。店主佐野鶴之助氏は尼崎市の人、阪急電鐵沿線魚茶組合の評議員たり。

■藤爲建具店　天神町に在り。明治二十九年の開業にして和洋建具の製造及び社菖堂の建築

請負業を爲す。近時北攝方面に住宅の經營旺に起るや同店は専ら其の建具製造を引受け繁忙を極めつゝあり。店主藤本爲次郎氏は職人數名を督廻して日夜業務に精勵す。又西之口百貨店内に骨董品店を開し居れり。

■植村道具店 元新町に在り。明治四十年の開業にして嫁入道具並に漆器各種を販賣せり商號ざこ吉と謂へば近郷の人必ず同店を聯想する程古き信用を有し品質の優秀なると價格の低廉なるとは當地同業者中の第一位にあり。店主植村幸次郎氏は多年米國に游歴し學識淺からず、商智氣銳の人として衆望噴々たり。



■福本道具店 大清と云へば當地道具業者中最古參格の店舗なり。店主福本重次郎氏は本年二十五歳頃の勤勉家として信用あり。池山師範學校町役場、小學校、警察署等の道具類は大多數同店の手を経て名聲を博し居れり。

■今井道具店 本町に在り。和洋道具の製造販賣を營む。第一工場を建石町に置き半馬力の電力を使用して断材器を据付け第二工場を林口町に設け、八九の職人を使役して却々の盛昌を呈す。熱心と安價とは店主の常に目標とする所注文日に繁く製作に忙殿されて二六時中夜業を繼續せり店主今井利一郎氏は池田の人、非常の活動家にして信望あつ

し。
■宮興三商店 本町に在り。お宮道具一式並に荒物柳行李、支那鞆等を販賣し十五年前の開業なり。店主壇田興三五郎氏は福井縣坂井郡鷹畠村字西畑の生れにして建築請負を業とし盛名あり、家業は令閨の副業として一任し相當の信用を博し居れり。

■渡邊商店 甲ヶ谷にあり。銅器物白目引き打直し銅器製作品一切を製造販賣せり。商號あかり、家業は令閨の副業として一任し相當の信用を博す。店主渡邊伊之助氏は池田のなべやと稱し當町に於ける唯一軒の銅器製作店として信用を博す。店主渡邊伊之助氏は池田の人にして嘗て六阪に師を覺め後神戸にて腕を鍛え大正五年開業す。製品の優良なる爲め名聲近郷に鳴り遠くは生瀬、三田、寶塚、妙見地黄、賓面等の各方面より陸續注文到し其の製作に繁忙を極め居れり。

■荒堀水室 西之口に在り。水間屋を營む。明治十九年の開業にして龍紋製氷株式會社の特約店たる事十三年間、店主荒堀宇之松氏は本郡秦野村大字曾鉢の人、長じて荒堀家に入り其の姓を襲ひ非常の活動家なり。今や北攝地方益々發展し病院其の他涼水の需用愈々多端ならんとするに際し信用ある當店は層一層水間屋として其の聲價を顯揚するに至るべし。

■平井石碑店 柳屋町に在り。大正五年の開業にして其の名聲近郷に鳴り二六時中石碑の音絶えたる事なき盛況を呈せり。店主平井卯一郎氏は三重縣伊賀の人、西光寺境内西尾正一氏の石碑は同氏が渾身の識才を傾注して彫刻せる作として名あり。最近妻女は米屋町に於いて善哉し

業科營

諸國在來黑瓦
產藥掛瓦
一德製耐寒不變色瓦
スラン式人造各種色彩瓦
耐寒洋瓦
人造各種色彩瓦
スレート便利瓦
セメント石灰
各社
左官用諸材料

土管常滑堺產
管三河長州產
半型厚管
常滑產
植木鉢火鉢類
朝顏撰定朝顏鉢
人造石井戸側浴場
萬年流
冷藏庫付色々
木棚衛生疊下用紙
竹骨人造石柱
建築用陶器類

主ナル特約店

宮内省御用一德家
東京西二製瓦組合
谷川瓦製造組合
三州泉州
撮津日本洋瓦株式會社
ト株式會社
攝津東亞セメント
大坂木津川
土佐日本石灰工
業株式會社
土佐石灰同業組合

屋根瓦
陶土建石材

黑田商行池田支店

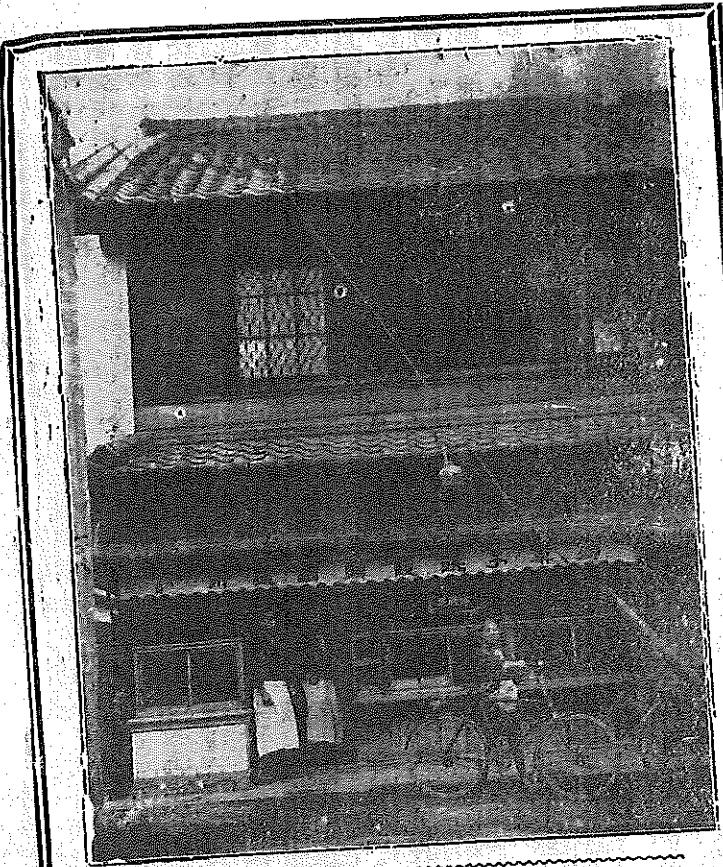
店主 黑田義太郎

尼崎市城内郵便局前

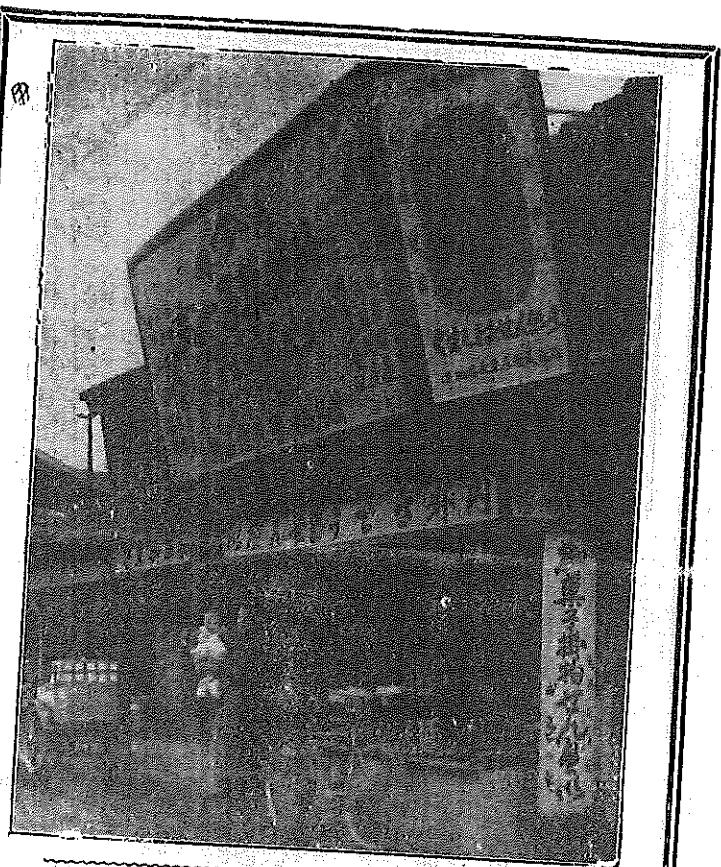
本店 電話二三〇番(營業)
二三九番(本家)



弊店之主義綱領
絕對利庫期納
切賣富守
絕薄在納
豐確
中出張所 豊中停留所前東入



賣販造製頭饅。物しむ。餅祝御
町本田池の主店
店商出日
郎三治井藤



和内吳洋菓外服
卸造製子砂糖
賣販發餅煎竹井鳥
元賣榮堂町口之西田池